

未来を開く

長井市立長井北中学校 No53 令和4年11月4日



文化祭報告2 (展示部門)

学習の成果が、「作品」となって展示された。
鑑賞をとおして、多くを学ぶ機会にしたい。

【文化祭テーマ】

『開華～北中が誇る文化の大舞台』

つなげ未来への第二章～』

展示作品の一端をご紹介します。

下:生徒昇降口を飾る文化祭テーマ



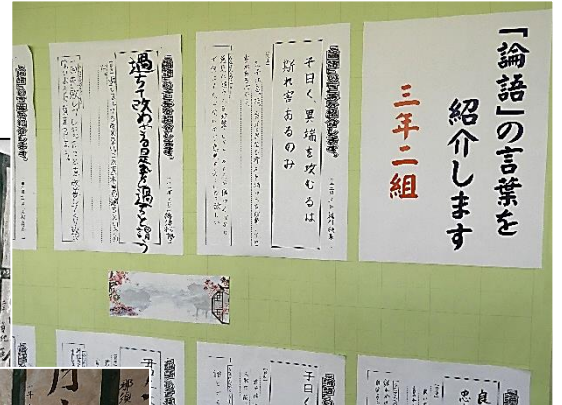
上:1年総合的な学習「ツル・ル・ド・長井」のまとめ

下:2年修学旅行のまとめ

下:国語 毛筆
2年「紅花」 1年「月光」

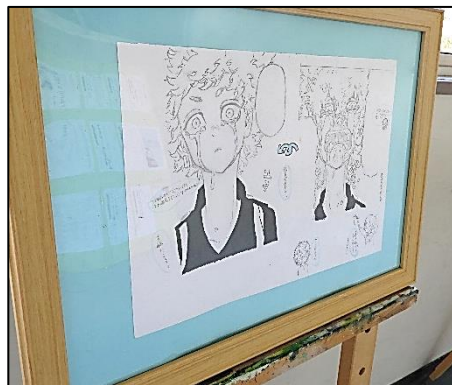
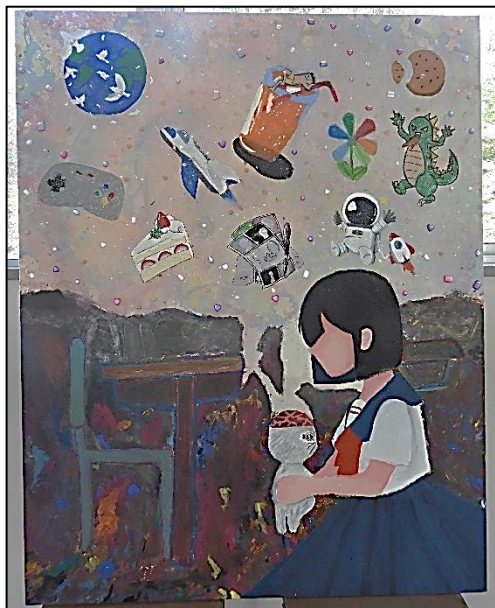


上:国語
3年「論語」の紹介





左と下:
総合文化部(美術分野)の作品



左上・上:
文化祭テーマを、全校生と先生
方の作品を集めて表現

左:生徒作品(ジグソーパズル)



美術科作品

上:3年自画像 右:2年静物画

右上:1年切り絵

文化祭実行委員長:中野裕大さんより(クロージングセレモニーでの言葉)
「僕は、この準備期間中学んだことがあります。それは、「仕事は、自分ひとりだけでやるものではない」ということです。「一人ひとりの力が合わさるから、大きなことができる」。そのことを、身をもって学びました。

みなさんの学年合唱、クラス合唱、それにオープニング、装飾などの各部門の仕事も同じだと思います。言い換えると、私達の学校や家庭での生活も同じなのではないでしょうか。一人ひとりの力が合わさり、時に支え合ったり、競い合ったり、補い合ったりして、私達の生活が成り立っているのだと思います。

文化祭がまもなく終わります。でも、北中の文化はこれからの毎日の生活で益々磨きをかけることができると思うのです。そして、北中の文化を磨くためには、全校生一人ひとりの「開華」が必要です。それぞれが持つ「良さ」や「個性」に更に磨きをかけ、みんなの力でより良い北中をつくっていくことを誓い、文化祭を閉じたいと思います。」